



北海道新幹線開業で
更に繋がる!

青函圏 みなとオアシス 周遊観光ガイドブック

TAKE FREE
ご自由にお取り下さい

青函圏の
みなとオアシスを
巡&食&楽しむ
るるる

7つのオアシスを遊び尽くせ!

江差

函館

大間

おお
みなと

あお
もり

八戸

十和
田湖

青函圏の「みなとオアシス」でお待ちしています!!





みなとオアシス

「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、港湾管理者等からの申請に基づき、国土交通省地方整備局長等により認定・登録されたものをいいます。

青函圏みなとオアシスの周遊観光

平成28年3月26日に北海道新幹線が新函館北斗まで開業となり、青森県と北海道道南地域からなる青函圏では、これを契機とした新たな交流人口の創出や観光圏形成に向けた取組が活発化しています。

青函圏の交流は、歴史を紐解けば、原始時代にまで遡り、旧石器時代までは現在の津軽海峡はちょうど青函トンネルのあたりで陸続きで、海面が上昇し津軽海峡ができた後も交流が続けられました。その後も現在に至るまで、津軽海峡を挟んだ交流は続き、海運については、明治41年に就航した青函連絡船が昭和63年の青函トンネルの開業に伴い廃止になった後も、函館までフェリーが就航しています。鉄道については、青函トンネルの開業から28年経った平成28年に遂に新幹線が本州と北海道を結ぶことになります。

北海道新幹線の開業により、新しい未来へ歩み始めた青函圏。そこには、これまでの海運と港における長きに渡る交流の歴史・文化を伝えとともに、魅力的で一度は訪れてみたい観光資源を有する7つの「みなとオアシス」があります。

今、このガイドブックを手に取り、見ているあなたが、読み終えたとき、『青函圏みなとオアシス』って、面白そう！行ってみたい！』と思ってもらえると、とても嬉しいです。「その旅は、きっと素敵な旅になる。」、私たち関係者一同、そう願いながら、青函圏の「みなとオアシス」にあなたが来るのを心からお待ちしております。

それでは、皆さん、青函圏の「みなとオアシス」でお会いしましょう！



contents

各みなとオアシスの見所と おすすめのグルメ・お土産

・みなとオアシス江差	...	3
・みなとオアシス函館	...	5
・みなとオアシス大間	...	7
・みなとオアシスおおみなと	...	9
・みなとオアシスあおもり	...	11
・みなとオアシス八戸	...	15
・みなとオアシス十和田湖	...	17

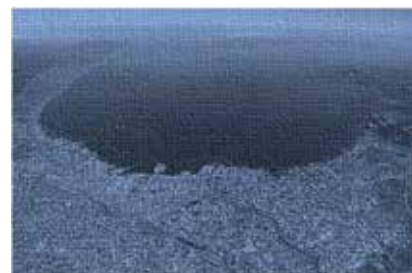
魅力満載 青函圏みなとオアシス

・青函圏を繋ぎ、歴史を紡ぎ、未来へ運ぶ船達	...	19
・思わず舌鼓、Sea級グルメ	...	20
・人々の心を魅了する港の夜景	...	21
・夏の思い出、夜空を彩る港の花火大会	...	22
・港の熱い夏祭	...	23
・心も温まる港の冬祭	...	24

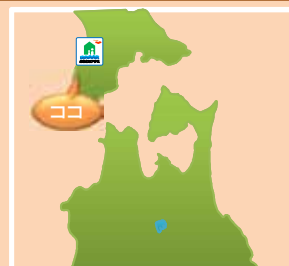
イベントカレンダー	...	25
-----------	-----	----

周遊観光モデルプラン	...	27
------------	-----	----

アクセスとオアシス間の移動	...	29
---------------	-----	----



「みなとオアシス江差」は、北海道南部の渡島半島の日本海側にある江差港に位置しており、訪れる市民や観光客に、美しい自然景観と町の歴史を活かした交流空間や、町内の様々なサービスやイベント情報などを提供しています。



エリア図

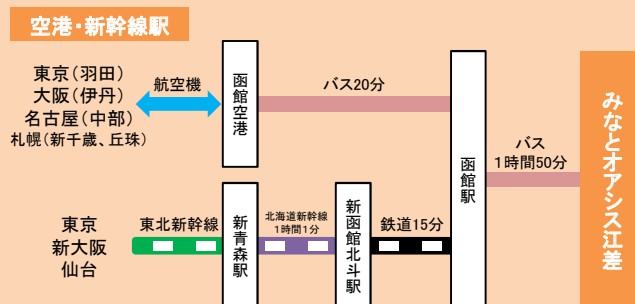


1次交通拠点からのルート



1次交通拠点からのアクセス

※所要時間は各交通機関のダイヤ等をもとにした最短時間です。
※ご旅行の際は、最新のダイヤ等をご確認下さい。





見所とおすすめのグルメ・お土産



①えさし海の駅開陽丸・開陽丸記念館

WiFi
FREE

開陽丸は、平成24年にリニューアルオープンし、アンテナショップ「ぶらっと江差」が土産物や軽食の提供を行っています。開陽丸記念館は、戊辰戦争中、江差沖で沈没した開陽丸を設計原図を元に復元されました。内部には、遺物約3,000点の展示等を行っている他、大砲の発射音や帆船の操作、ハンモックなどを体験できるコーナーもあります。近隣には江差港マリーナや地元の特産品を購入することができる漁師の店が整備されています。

住 江差町字姥神町1-10
移 函館バス「姥神フェリー前」から徒歩3分
営 9:00～17:00
休 11～12月の月曜・祝日の翌日、12月31日～3月
料 大人500円、小中高250円
P あり
TEL 0139-52-5522(開陽丸青少年センター)



▲音による大砲発射体験、操船体験も



▲海底から引き揚げられた遺物を展示



▲幕末の歴史に触れてみませんか



②かもめ島

③えびす浜海水浴場

檜山道立自然公園の特別区域に指定されるこの美しい自然の小島は、江差のシンボルとして多くの人に愛され、親しまれています。前浜には瓶を逆さにした形で、ニシン群来(くき)伝説がある奇岩「瓶子岩(へいしわ)」があり、島の遺跡や名所を散策できる「かもめの散歩道」も整備されています。島の上には厳島神社やキャンプ場などがあります。また、海水浴場に指定されているえびす浜は「かもめ島」がつくる天然の入り江が波を穏やかにする美しい海水浴場として町内外の人々に親しまれています。7月下旬～8月中旬の約3週間利用できます。

住 江差町字鷗島
移 函館バス「姥神フェリー前」から徒歩5分
営 9:00～17:00
休 年中無休
料 無料
P あり
TEL 0139-52-1020(江差町役場)



▲かもめ島から見る夕陽は絶景(日本夕陽百選)



▲海の中にある瓶子岩は島のシンボル



▲開陽丸のすぐ横にある海水浴場です



④江差追分会館・江差山車会館

WiFi
FREE

ニシン漁の繁栄をほうふつとさせる土蔵造り風の外観の建物で、百畳敷の棧敷席や資料展示室などがあり、実演を交えながら江差追分の歴史を紹介しています。毎年11月・2月には本場の追分を学ぶことができる追分セミナーも開かれています。また、隣接する江差山車会館では江差町の三大祭りの一つ、「姥神大神宮渡御祭」に巡行している山車(やま)13台の中から2台を1年交代で展示しています。

住 江差町字中歌町193-3
移 函館バス「中歌町」から徒歩1分
営 9:00～17:00
休 11～3月の月曜・祝日の翌日、12月31日～1月5日
料 大人500円、小中高250円
P あり
TEL 0139-52-0920(江差追分会館)



▲江差追分を毎日3回実演(5月～10月)



▲江差追分全国大会(毎年9月開催)



▲実際に巡行している山車を展示



⑤江差いにしえ街道

江戸～明治にたてられた商家や寺社が残る津花・姥神・中歌町の旧国道沿い地区。平成元年から「歴史を生かすまちづくり事業」により建物などが整備され、現在は「江差いにしえ街道」の名で親しまれています。約560年前に草創された北海道最古の神社「姥神大神宮」や国指定重要文化財「旧中村家住宅」や土蔵を改修した喫茶店など歴史的な街並みが1.1km続き、見所満載です。

住 江差町字中歌町～姥神町
移 函館バス「中歌町」から徒歩1分
営 指定なし
休 年中無休
料 無料
P なし
TEL 0139-52-1020(江差町役場)



▲国指定重要文化財 旧中村家住宅



▲総にノキ切妻造りの二階建て



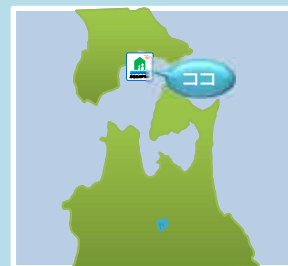
▲道指定有形民俗文化財 横山家



▲昔ながらの雰囲気を満喫



「みなとオアシス函館」では、港の賑わいを創出するため、函館市の観光拠点の1つである「赤レンガ倉庫群」を中心とする末広地区と市民の憩いの場である、大町地区の「緑の島」、弁天地区の「国際水産・海洋総合研究センター」など、港に関連する施設を活用しながら、市民と観光客の交流の促進や観光振興を通じた地域の活性化を目指しています。



エリア図



1次交通拠点からのルート



1次交通拠点からのアクセス

空港・新幹線駅

東京(羽田)
大阪(伊丹)
名古屋(中部)
札幌(新千歳、丘珠)

東京
新大阪
仙台

東北新幹線
北海道新幹線
新函館北斗駅

新青森駅

函館市電

函館駅

函館フェリーターミナル

函館空港

函館フェリーターミナル

函館フェリーターミナル

函館フェリーターミナル

函館フェリーターミナル

函館フェリーターミナル

函館フェリーターミナル

※所要時間は各交通機関のダイヤ等をもとにした最短時間です。
※ご旅行の際は、最新のダイヤ等をご確認下さい。

見所とおすすめのグルメ・お土産



①国際水産・海洋総合研究センター（弁天地区）



住 函館市弁天町20番5号
移 市電「函館どつく前駅」から徒歩15分
営 9:00～17:00
休 土・日・祝日、12月29日～1月3日
料 無料
P 116台
TEL 0138-21-4700(国際水産・海洋総合研究センター)

海の生き物に
触れよう！

おすすめ！



▲マリンフェスタ2015(タッチプール)



▲マリンフェスタ2015(茶道会)

②赤レンガ倉庫群（末広地区）



住 函館市末広町14番12号
移 市電「十字街駅」から徒歩5分
営 9:30～19:00(季節変動あり)
休 年中無休
料 無料
P あり
TEL 0138-27-5530(赤レンガ倉庫総合インフォメーション)

おすすめ！

ロマンチックな
夜をどうぞ！



▲はこだてクリスマスファンタジー



▲ライトアップされた赤レンガ倉庫群と函館山

おすすめ！

楽しい旅
の思い出に！

素敵な
お土産が
いっぱい

③函館朝市（若松地区）



住 函館駅周辺
移 JR函館駅から徒歩1分
営 5:00～14:00(店舗により異なる)／1～4月6:00～
休 年中無休(店舗により異なる)
料 無料
P 200台
TEL 0138-22-7981(函館朝市協同組合連合会事務局)

函館の名物とも言える函館朝市。昭和20年(1945年)に、近隣町村の農家が野菜や果物を持ち込み、函館駅前で立ち売りを始めたのがルーツ。以降、カニやサケをはじめとした海産物や、農園からの直売品など、北海道ならではの鮮度の高い食品を販売しています。新鮮な海産物は朝に入荷するというのももちろん、昼過ぎには品切れとなることもあるので、できるだけ早い時間に訪れるのがベストです。鮮度抜群の海鮮丼などが味わえる食堂や、旬の魚介類を販売する売店など、約250もの店が軒を連ねているので、色々な店をのぞいてみよう。イベントホールも併設されているので、定期的に様々なイベントが開催されています。ぜひ、たくさんのご来場を心よりお待ち申し上げております。

おすすめ！

いか釣
体験！

おすすめ！

味もボ
リュームも
満点！



▲海産物がならぶ朝市



▲活いか釣り堀



▲鮮度抜群！各店自慢の海鮮丼

④緑の島（大町地区）



住 函館市大町15番
移 市電「大町駅」から徒歩10分
営 9:00～17:00(季節変動あり)
休 1月1日～3日
料 無料 **P** 197台
TEL 0138-21-3487(函館市港湾空港部)

函館港の整備によって発生した浚渫土砂を使用して作られた小さな人工島。対岸には新島渡海外渡航の地碑が建っており、それにちなんで「新島橋」で本土と繋がっています。函館の観光名所である元町地区のすぐ前にあり、緑の島からは函館港やベイエリアを一望の下に見渡すことができます。



▲緑の島周辺風景



▲GLAY函館凱旋LIVE2013in緑の島

⑤西ふ頭（西ふ頭地区）



住 函館港西ふ頭E岸壁
移 市電「大町駅」から徒歩15分
営 7:00～18:00
休 日・祝日、12月31日～1月3日
料 無料
P 160台
TEL 0138-21-3493(函館市港湾空港部)

函館港には、毎年何隻ものクルーズ客船が寄港し、優美な姿が人気を集めています。客船が入港した時には、岸壁にて物販なども行われます。是非、洋上の楽園と呼ばれる華やかな世界に触れて下さい。



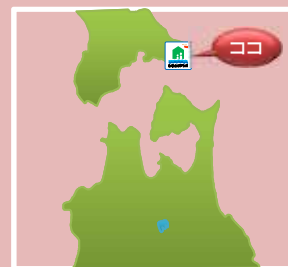
▲歓迎イベント



みなとオアシス大間

本州最北端のマグロの町!

「みなとオアシス大間」は、本州最北端の大間町に位置し、本州と北海道をつなぐフェリーの重要拠点である津軽海峡フェリー大間フェリーターミナルや、本州最北端の大間崎のエリア、全国的に有名なブランドの大間マグロでも有名なキュウレイ（旧冷蔵庫）周辺のエリアで構成されています。



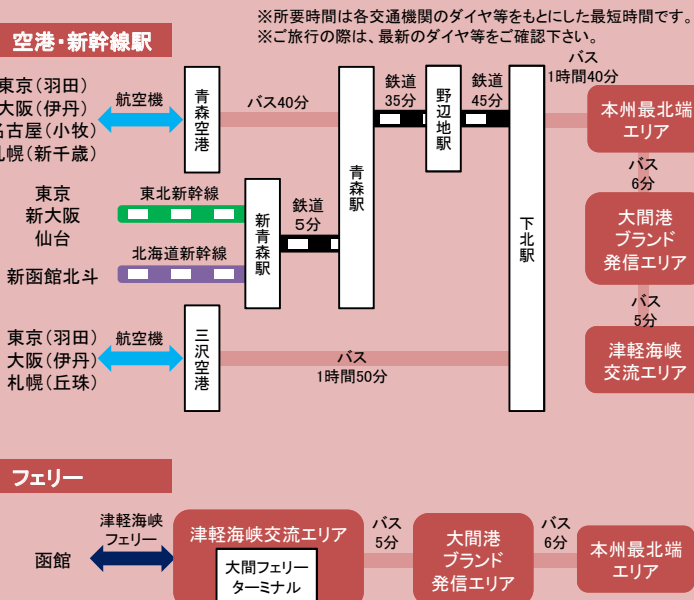
エリア図



1次交通拠点からのルート



1次交通拠点からのアクセス



見所とおすすめのグルメ・お土産



①津軽海峡フェリー大間フェリーターミナル

WiFi
FREE

北海道の函館まで90分で結ぶ、フェリーが1日2往復就航しています。ターミナル内、1階には精巧な一本釣りのマグロのモニュメントが展示され、2階には青森土産がずらりと並ぶ売店「SEAちゃん 大間店」、食堂「海峡日和 大間店」があります。

住 青森県下北郡大間町大字大間字根田内10番地
移 下北交通「フェリー乗場前」からすぐ
営 食堂「海峡日和 大間店」 9:00～18:00
売店「SEAちゃん 大間店」 6:00～18:00
休 年中無休
料 無料 **P** あり
TEL 0175-37-3111 (津軽海峡フェリー大間支店)



▲マグロのモニュメント



▲食堂「海峡日和 大間店」



▲売店「SEAちゃん 大間店」



②キュウレイ (旧冷蔵庫)

大間漁業協同組合の旧冷蔵庫(通称 キュウレイ)では、毎年マグロ漁が本格化する9月、10月の毎週日曜日に、大間マグロの解体ショーと解体されたマグロの即売会等が開催されます。

住 青森県下北郡大間町大字大間字大間
移 下北交通「大間」から徒歩1分
営 イベント時のみ
料 無料
P あり
TEL 0175-37-3117 (大間漁業協同組合)



▲マグロの解体ショー



▲マグロの即売会



③大間崎レストハウス

本州最北端の石碑の隣にあるレストハウス(観光案内所)には、観光パンフレットのコーナーや、平成25年の築地の初競りで史上最高値を記録した1億5,540万円のマグロの実物大の記念パネルが設置されています。また、大間崎到達証明書も販売しており、無料休憩所としてもご利用いただけます。

住 青森県下北郡大間町大字大間字大間平17番地1
移 下北交通「大間崎」からすぐ
営 8:00～17:00
11～4月下旬
休 無料
料 あり
P あり
TEL 0175-37-4353 (大間崎レストハウス)



▲マグロの実物大の記念パネル



▲本州最北端大間崎の到着証明書

周辺の観光名所・グルメ・お土産



マグロモニュメント・本州最北端の碑・弁天島 (大間崎灯台)

三方を海に囲まれた本州最果ての地「大間崎」、目の前には白と黒が印象的で、「日本の灯台50選」にも選ばれている大間崎灯台が立ち、その向こうには雄大な北海道の山々を身近に感じることができます。石碑の隣には過去に水揚げされた440kgのマグロがモデルになっており、撮影スポットとして人気となっています。

住 青森県下北郡大間町大字大間字大間平
移 下北交通「大間崎」からすぐ
料 無料
P あり
TEL 0175-37-2111 (大間町役場 産業振興課)



▲西吹付山展望台から見える横夜景



▲本州最北端の碑

見所とおすすめのグルメ・お土産



住 むつ市真砂町8番8号
移 JR下北駅から徒歩25分
営 9:00～21:00
休 毎週木曜日
料 有料 **P** 332台
TEL 0175-28-4341
 (むつ市ウェルネスパーク)
 ※ウェルネスはらっぱに関して
 0175-22-1111
 (むつ市市民スポーツ課)

①しもきた克雪ドーム ②ウェルネスはらっぱ

スポーツの振興と地域住民の健康増進を図るとともに、市民相互の交流と豊かな市民生活の形成を目的として整備されました。しもきた克雪ドームは、冬期間の屋外での活動に大きな制約を受けていたこの地域を活性化するための施設として建てられました。毎年、たくさんのイベントが開催されており、臨港地区の賑わいを生み出しています。



▲近くにある大湊港に、クルーズ客船が寄港するときも！



むつ市ウェルネスパーク
 スタッフの**おすすめ！**

「ドームの中では、スポーツだけでなく、催事も行うことができます。皆で楽しく体を動かすだけでなく、交流の場として賑わっています。」



▲ドーム内でイベントが行われたときの様子



③大平マリーナ

船舶保管エリアの後方には、海へ向かって開けた公園が整備されており、市民や臨港地区エリアの来場者への新たな海辺の憩いの空間となっています。

住 むつ市真砂町8番8号 地先 **移** JR下北駅から徒歩25分 **営** 24時間可 **休** なし
料 無料 **P** 37台 **TEL** 0175-22-8581(内線260)(下北地域県民局地域整備部 用地課)



④北の防人大湊 安渡館

WiFi
 FREE

安渡館は、実在した旧海軍大湊要港部庁舎をイメージした建物です。館内には、情報提供ラウンジや、食事ができるカフェテリアがあり、様々なグッズを販売している売店の他、会議や小規模なイベント等ができる交流室があります。



▲交流室。
 会議やイベントなど様々な
 場面で使用されています。



▲カフェテリア憩-ikoi-
 みなとオアシスを歩き疲れたらここで一旦休憩。
 ドリンク・アルコールや、地元産の食材を使った
 メニューを取り揃えています。



カフェテリア憩-ikoi-
 大村代表の**おすすめ！**

「海軍のまち大湊を感じてもらえるように、味だけでなく、見た目と食材にこだわりました。皆さんぜひ一度、大湊海軍カレーを食べに来てください。」



▲大湊海軍カレー



▲安渡館限定の
 ムチュランぬいぐるみ

売店では海軍・海上自衛隊、むつ市PRキャラクター「ムチュランファミリー」のグッズなど、安渡館限定の商品を販売しています。



▲カフェテリア憩-ikoi-自慢のスウィーツ
 ムチュランティラミス

住 むつ市桜木町3番1号
移 JR大湊駅から徒歩7分
営 安渡館 10:00～20:00
 カフェテリア憩-ikoi-
 11:00～20:00(LO19:30)
休 12月31日、1月1日
料 無料
P 67台(他施設と共用)
TEL 0175-29-3101
 (北の防人大湊 安渡館)



⑤北の防人大湊 海望館

WiFi
 FREE

地上約15mの高さから、歴史ある大湊の街並み、芦崎湾、海上自衛隊艦艇を一望できます。夜間にはライトアップが行われ、クリスマスなどのイベント中にはイルミネーション等も行われています。

住 むつ市桜木町3番1号 **移** JR大湊駅から徒歩7分
営 10:00～20:00(ライトアップは日没～21:30) **休** 12月31日、1月1日
料 無料 **P** 67台(他施設と共用)
TEL 0175-29-3101(北の防人大湊 安渡館)

昼は展望台から大湊の街並みを望み、夜はライトアップを楽しむことができます。



⑥みどりのさきもり館

WiFi
 FREE

学習活動、交流、集会、憩いの場を提供するとともに、育苗や植樹等の体験活動を通じて緑のまちづくりを支援する学習・交流施設です。

住 むつ市宇田町21番25号 **移** JR大湊駅から徒歩7分 **営** 9:00～17:00 **休** 月曜日、祝日、12月28日～1/3日
料 無料 **P** 67台(他施設と共用) **TEL** 0175-24-1818(みどりのさきもり館)



⑦水源池公園

水源池公園内にある「旧大湊水源池水道施設」は、旧海軍により東北地方で最初に建設され、平成21年に国重要文化財に指定されました。5月上旬には園内に約200本の桜が咲き、花見客で賑わいます。

2015ミスおしまこ
 萩野さんの**おすすめ！**

「4月下旬から5月上旬にかけて行われる「むつ桜まつり」には、年々たくさんの人々が訪れます。園内に咲き誇る約200本の桜は見ごたえ十分です。」

▲「むつ桜まつり」を楽しむ人々



▲秋は、紅葉も楽しめる。

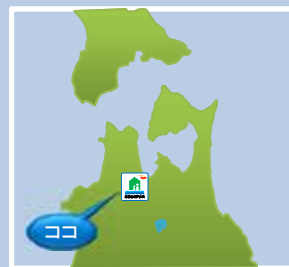
住 むつ市宇田町 地内
移 JR大湊駅から徒歩7分
営 9:00～21:00(施設点灯時間)
休 なし
料 無料 **P** 67台(他施設と共用)
TEL 0175-24-1818(みどりのさきもり館)



みなとオアシスあおもり

青函交流の歴史を伝え、人が憩い眠るう港町！

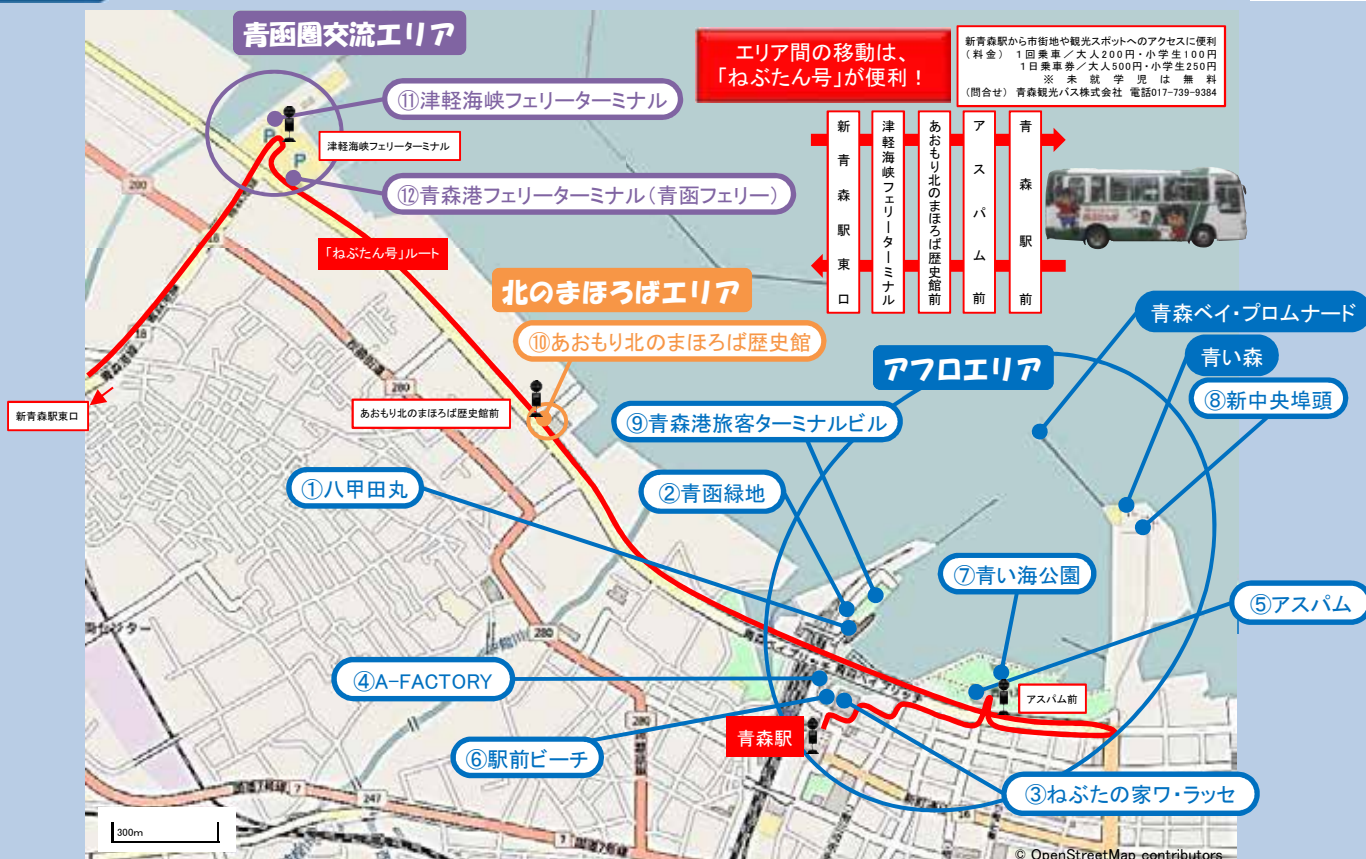
「みなとオアシスあおもり」は、青森県のほぼ中央にある青森港に位置し、明治から昭和にかけて本州と北海道をつなぐ大動脈として活躍した青函連絡船の発着所周辺であった青森駅周辺を中心としたアフロ（アオモリウォーターフロント）エリア、港を中心に発展してきた青森市の歴史や民俗を総合的に紹介する北のまほろばエリア、北海道の函館と結ぶフェリーが就航する青函圏交流エリアから構成されており、アフロエリアでは年間を通じて様々なイベントが開催されています。



みなとオアシスあおもりの情報がもっと知りたい方は
こちら→



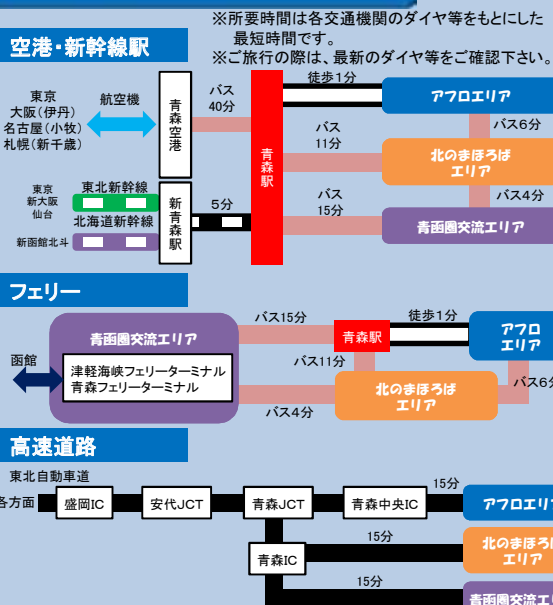
エリア図



1次交通拠点からのルート



1次交通拠点からのアクセス



見所とおすすめのグルメ・お土産 その1



①青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 ②青函緑地



昭和39年に就航した八甲田丸は歴代の青函連絡船55隻の中でも23年7か月と現役期間が1番長かった船で、青函連絡船の最終航行船の大役も務めました。青函連絡船の80年の歴史や構造を知ることが出来る数々の資料の他、1F車両甲板には、郵便車両など本物の鉄道車両が当時のままで展示されています。

住 青森市柳川1-112-15地先
移 JR青森駅から徒歩5分
営 9:00～19:00(11～3月 9:00～17:00)
休 11～3月の毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、
12月31日、1月1日、3月第2週の月～金曜日
料 大人500円、中高生300円、小学生100円
P 20台
TEL 017-735-8150(あおりみなとクラブ)



ボランティアガイド葛西さん(青函連絡船元機関長)の**おすすめ!**

「船内は就航当時立ち入ることのできなかった操舵室や機関室などが見学できるほか、1階車両甲板には、本物の郵便車やディーゼル機関車など大変貴重な車両が展示されていますので、ぜひ見学に来てください。私が皆様をご案内します。」



▲操舵室で船長気分を!



▲当時のままの車両甲板



▲八甲田丸港フェスタの賑い

八甲田丸を中心とする青函緑地では、毎年、7月下旬に「八甲田丸みなとフェスタ」が行われています。フードコーナー、イワナつかみどり・ホタテの釣り体験、ミニSL乗車会、Mr.防波堤コンテストや青森港内体験クルージングが開催されています。



③青森市文化観光交流施設 ねぶたの家W・ラッセ



ねぶたの魅力を一年を通して体感できるねぶたの家W・ラッセでは、実際の祭りに出陣したねぶた4台を展示しています。毎日のハネト・囃子体験などで、お祭り気分を味わうことができます。

住 青森市安方1-1-1 **移** JR青森駅から徒歩1分
営 9:00～18:00(5～8月 9:00～19:00)
休 8月9日・10日、12月31日、1月1日
料 大人600円、高校生450円、小中学生250円
P 100台、大型バスは事前予約制
TEL 017-752-1311(ねぶたの家 W・ラッセ)



▲祭りを盛り上げたねぶたを間近で鑑賞

「魚つ喰いの田」田中社長の**おすすめ!**
おさかなビュッフェ
11:00～15:00
「マグロなど、青森近辺で獲れた新鮮な地魚がお刺身として食べ放題!」
ぜひお立ち寄りください!



▲お刺身コーナー



お祭り体験(ハネト・囃子)
土日祝 11:00/13:00/15:00 各30分
平日 11:10/13:10/15:10 各20分
紙貼り体験
毎日 10:00/14:00 各30分

▲祭り本番ながらのハネトと囃子の体験



▲青森ふるさとショップ「アイモリー」

全国に誇る青森の魅力的な「味・技」を多数販売。青森のお土産ならお任せください! 中でも、ねぶた製作者がこのショップのために作ったオリジナルの作品は必見です。



「アイモリー」スタッフ佐藤さんの**おすすめ!**
「ふるさとショップアイモリーと、ねぶた師竹浪比呂氏氏が共同開発した、アイモリーでしか売っていない、ねぶたポロシャツがおすすめです!」



▲アイモリーオリジナルねぶたポロシャツ



④A-FACTORY



県産りんごのシードル工房と、地元のさまざまな食材が楽しめるマルシェ(市場)の複合施設。館内中心部に工房があり、シードルの醸造工程をガラス越しに見ることができます。県産食材にこだわった料理やスイーツなども堪能できます。

住 青森市柳川1-4-2
移 JR青森駅から徒歩1分
営 9:00～20:00(店舗により異なる)
休 不定休
料 なし **P** 16台
TEL 017-752-1890(A-FACTORY)



シードル工房スタッフの**おすすめ!**
「青森県産のふじとジョナゴールドを使用し、低温でじっくりと発酵させたシードル。是非ご賞味を!」



▲青森県産りんごのシードル



おすすめ!
▲ガレットリア ダ・サスイーノのガレット

「ガレットリア ダ・サスイーノ」では、A-FACTORYで醸造したのシードルと、相性抜群の青森産そば粉を使ったガレットが食べられます。



⑤青森県観光物産館アスパム



「AOMORI」の「A」をイメージした正三角形の建物で、地上15階、高さが76mある青森の情報基地です。青森県の物産品販売、パノラマ映画、展望台の他、展望レストランや郷土料理などお食事処も充実しています。

住 青森市安方1-1-40
移 JR青森駅から徒歩8分
営 9:00～18:00
休 12月31日、毎年1月第4週の月火水
料 展望台 大人400円、中高生300円、小学生200円
パノラマ映画 大人600円、中高生450円、小学生300円
P 150台、大型バスは予約制
TEL 017-735-5311(青森県観光連盟)



▲みちのく料理「西むら」(10F)の縄文定食

じゃっば汁に、ほたて貝焼味噌、がっくら漬の郷土料理と新鮮なお刺身なセット。これ一つで青森を味わえます。



▲Sweets Factory pampam(1F)のチーズアップルパイ

りんごの果肉とクリームチーズ入りのオリジナルアップルパイ。焼きたてをお持ち帰りください。(シナモン不使用)

お得情報!

みなとオアシスの施設を回る「あおりベイエリア周遊券(八甲田丸、W・ラッセ、アスパムの3館共通券)」
約3割もお得! 大人1,300円、高校生900円、中学生700円、小学生500円



見所とおすすめのグルメ・お土産 その2

⑥駅前ビーチ



青函連絡船が当時使用していた、船溜まりを利用した、市民による「日本一の駅近ビーチ」の取組が活発化しています。完成時期は、東京オリンピックが開催される2020年を、最終的な面積は、ビーチバレー等が開催できる規模を目指しています。

住 青森市安方1-1-1地先
移 JR青森駅から徒歩1分
営 イベント時のみ立ち入り可能
休 イベント時のみ立ち入り可能
料 なし
P なし
TEL 017-734-4101 (青森港管理所)



▲海上の遊歩道「ラブリッジ」から見たイメージパース



▲AQUA SOCIAL FEST!!によるアマモの移植



▲高校生のバケツリレーによる砂浜づくり

⑦青い海公園



青森県観光物産館の裏手にある海に面した都市公園です。公園内にはラッセランドがあり、毎年5月下旬からねぶたの製作が行われています。海に見えるテラスや、水辺のプロムナード、海水を使った噴水が階段をつたって海に注ぎ込むなど、おしゃれなスポットがたくさんあります。

公園内には、ガラス展望台や赤い糸のモニュメント、海の記念日発祥の地として明治天皇御巡幸御渡海記念碑が建設されている聖徳公園などがある。

住 青森市安方2-1
移 JR青森駅から徒歩8分
休 なし
料 なし
P 150台、大型バスは予約制(アスパム駐車場)
TEL 017-734-4101 (青森港管理所)



▲ラッセランドに立ち並ぶねぶた製作小屋



▲明治天皇御渡海記念碑



▲「海の記念日発祥の地」の石碑

⑧新中央埠頭



新中央埠頭には、クルーズ船が寄港できる岸壁があり、春から秋にかけて多くのクルーズ船が寄港し、世界との観光・交流の拠点となり、海外を始めとする多くのお客様が青森県内の観光地を訪問しています。

また、海側に向かって歩いて行くと、「青森ベイ・プロムナード」という、陸地と繋がり、自由に出入りできる防波堤があります。先端には、「AOMORI」の「A」をデザインした円錐形の白い灯台があり、階段状ベンチや展望デッキ、手摺りが整備され、安全に散策や休憩ができ、先端からは、海側からの市街地を見ることができます。

「青森ベイ・プロムナード」の入口近くの緑地には、「青森」という地名の由来であり約400年前に青森港が開港した際に実在した、港に船が入る際の目印であった「青い森」がシンボルツリーとして復活しました。

住 青森市本町3丁目
移 JR青森駅から徒歩12分
休 なし
料 なし
P 20台
TEL 017-734-4101 (青森港管理所)



▲クルーズ船のお客さんへのおもてなし



▲ねぶた囃子による出港セレモニー



▲青森ベイ・プロムナード



▲「AOMORI」の「A」をデザインした灯台



▲「青森ベイ・プロムナード」から見た青森市街地の夜景



▲復活した「青い森」のシンボルツリー

見所とおすすめのグルメ・お土産 その3



⑨青森港旅客船ターミナルビル

シライラインが運航し、青森市と下北半島のむつ市脇野沢と佐井村を結ぶ、旅客船「ポーラスター」が1日2往復就航しています。むつ市脇野沢まで60分、佐井村まで2時間30分で結び、途中、津軽海峡の荒波が造り上げた美しい造形美である「仏ヶ浦」といった絶景を見ることができます。

住 青森市柳川1丁目4-1
移 JR青森駅から徒歩7分
営 8:30～18:00
休 無休
料 なし
P あり
TEL 017-735-8150
(NPO法人あおもりみなとクラブ)



▲旅客船「ポーラスター」



▲ターミナルビル



▲仏ヶ浦の奇岩群

⑩あおもり北のまほろば歴史館

「あおもり北のまほろば歴史館」は青森市を中心とした郷土の歴史や民俗を総合的に紹介する展示施設です。管内は、県指定重要有形民俗文化財である「青森の刺しこ着」や「津軽海峡及び周辺地域のムダマハギ型漁船コレクション」などを展示しています。展望室では、青森市街、陸奥湾、津軽半島や下北半島を一望できます。

※『まほろば』とは、「素晴らしい場所」「住みよい場所」という意味の古語で、作家・司馬遼太郎氏は青森市及びその周辺地域を「北のまほろば」と称しました。

住 青森市柳川1丁目112番15地先
移 JR青森駅からバスで11分
営 9:00～17:00
休 12月30日～1月1日
料 大人300円、大学・高校生150円
P 20台(無料)
TEL 017-763-5519(あおもり北のまほろば歴史館)



石山副館長の**おすすめ!**
「当館では、昔懐かしい生活用具をたくさん展示しています。私がご案内しますので、ぜひ見学に来てくださいね♪」



▲青森の刺しこ着



▲ムダマハギ型漁船コレクション

⑪津軽海峡フェリー 青森フェリーターミナル

WiFi
FREE

本州と北海道を結ぶ津軽海峡フェリー。青森～函館航路は1日8往復、16便で24時間365日運航。フェリーターミナルは24時間営業でバリアフリーにも対応。東北～北海道の情報を集めた観光パンフレットコーナーや赤ちゃんのための授乳室もごさいます。ターミナルは乗船者様以外もご利用頂けますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

住 青森市沖館二丁目12-1
移 JR青森駅からバスで15分
営 24時間(店舗により異なる)
休 年中無休
料 なし
P あり、大型バスは予約制
TEL 017-766-4733(津軽海峡フェリー青森支店)



津軽海峡フェリースタッフの**おすすめ!**
「2Fハーバーキッチンでは青森にゆかりのあるメニューが豊富。船が行き来する海をゆっくりと眺めながらのお食事もおおすすめです♪」



▲青森ホタテ卵とじ井



▲1F売店「SEAちゃん青森店」

⑫青森港フェリーターミナル(青函フェリー)(青森県フェリー埠頭公社)

WiFi
FREE

当ターミナルには青森港と函館港を結ぶフェリー運航2社のうち赤いロゴマーク「青函フェリー」の乗船手続きの窓口(1階)があります。2階には「待合室」、「お食事処 ハーバーキッチン②」、「青森県フェリー埠頭公社」があるほか、館内には授乳等の為のベビールーム、オストメイト完備の多目的トイレ、自動販売機コーナー、地域の方々の作品を展示できるギャラリースペースなどがごさいます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

住 青森市沖館二丁目11-1
移 JR青森駅からバスで15分
営 24時間(ハーバーキッチン② 9:30～18:30)
休 年末年始(不定期)
料 なし
P あり
TEL 017-782-3671(青函フェリー窓口)
017-781-7131(青森県フェリー埠頭公社)



青森港フェリーターミナルスタッフの**おすすめ!**
「ホタテエキスをふんだんに使用したスープは絶品です!」
小笠原店長



▲ホタテ塩ラーメン



▲2F「お食事処ハーバーキッチン②」



「みなとオアシス八戸」は八戸港の東側に位置し、国内最大級の朝市が開かれる館鼻岸壁を中心とした館鼻地区とウミネコの繁殖地である「燕島」周辺の鮫地区などで構成されています。港町八戸の美味しい・楽しいがぎゅっと集まったオアシスです。



エリア図



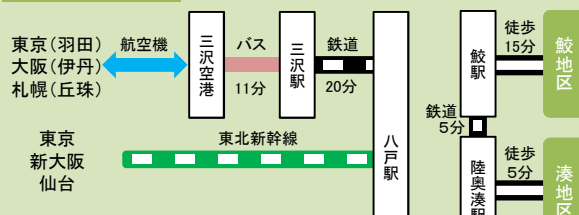
1次交通拠点からのルート



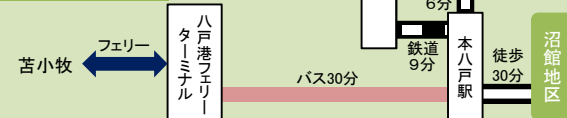
1次交通拠点からのアクセス

※所要時間は各交通機関のダイヤ等をもとにした最短時間です。
※ご旅行の際は、最新のダイヤ等をご確認下さい。

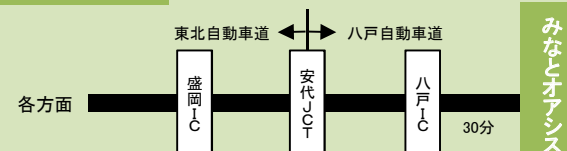
空港・新幹線駅



フェリー



高速道路



見所とおすすめのグルメ・お土産



①国天然記念物 蕪島（鮫地区）

蕪島はウミネコの繁殖地として大正11年3月に国の天然記念物に指定されており、毎年3月中旬頃に南方から数万羽のウミネコが飛来し産卵します。島に黄色い蕪の花（アブラナ科）が咲く4月頃に雛がえり、夏の終わりに再び南方へ飛び立ちます。



住 八戸市鮫町鮫56-2
移 JR鮫駅から徒歩15分
営 10:00～15:00 **休** なし
料 無料 **P** あり
TEL 0178-34-2730(蕪島神社)

※観光遊覧船「はやぶさⅡ」に関して
0178-33-3430(八戸通船)



▲蕪島まつり

おすすめ！



『かぶあがりひょうたん御守』
八戸のパワースポットである蕪島の有名な御守り。『蕪(株)』が上がって商売繁盛』『人気運向上』『子孫繁栄』などさまざまな御利益があるとされています。

おすすめ！



▲観光遊覧船「はやぶさⅡ」

▲月～10月末まで営業している観光遊覧船「はやぶさⅡ」は、蕪島を出発し、八戸港を周遊します。ウミネコとのふれあいを楽しむことができます。

②水産科学館マリメント（鮫地区）

八戸を代表するイカやウミネコの生態の展示、地球深部探査船「ちきゅう」の紹介を行っています。地元の海鮮食材をいただくことができるオーシャンビューのレストランがあります。



住 八戸市鮫町字下松苗14-33 **移** JR鮫駅から徒歩16分
営 9:00～17:00(時期により変動あり) **休** なし(臨時休館日あり)
料 一般300円、シニア150円、高校生200円、小中学生100円 **P** あり
TEL 0178-33-7800(八戸市水産科学館マリメント)



▲ミニ水族館

八戸港周辺の水生生物やチョット珍しい魚を展示し、それぞれの生態系について楽しく学ぶことができます。春夏秋冬のシーズンイベントに合わせて館内の装飾が変わり、期間限定で「夜のマリメント」を体験することができます。

③館鼻岸壁（湊地区）

館鼻岸壁では3月中旬から12月上旬まで毎週「八戸館鼻岸壁朝市」が開催されています。新鮮な食材や雑貨などを扱う店が300店舗以上あり、朝市としては国内最大規模を誇ります。テレビや雑誌等で紹介される機会も増え、八戸の観光名所となっています。



住 八戸市新湊 館鼻岸壁
移 JR陸奥湊駅から徒歩15分
営 日の出～9:00頃(3月中旬～12月の毎週日曜日)
休 八戸うみねこマラソン開催日(毎年5月)
料 無料 **P** 約500台
TEL 0178-80-7878(協同組合湊日曜朝市会)
0178-35-4415(みなとの駅)



「みなとの駅」スタッフの**おすすめ！**
みなとオアシス八戸・みなとの駅施設内に昨年12月オープンしたばかり！
朝市で一番行列ができるお店！ジュシーでカリッとした『しおてば』を是非味わってみてください！



▲しおてばの大安食堂

周辺のおすすめ！

毎週月～土曜日にJR八戸線陸奥湊駅前で開催される、八戸で最も古い朝市。八戸市営魚菜小売市場を中心とし、新鮮な魚介をおかずに使った贅沢な朝ご飯を食べることができます。元気な「イサハのカッチャ」(魚を商うお母さん)とのコミュニケーションもお楽しみの一つ。



▲陸奥湊駅前朝市



▲日曜朝一コーヒー

④八戸酒造株式会社・八戸屋形船「新井田丸」（湊地区）

新井田川沿いには平成22年に国の登録有形文化財と八戸市の景観重要建造物に指定された八戸酒造(株)があります。八戸酒造(株)の横には屋形船「新井田丸」が係留されており、周遊コースが豊富なプランにより工業港の八戸を優雅に楽しむことができる、八戸の新たな観光資源です。



住 八戸市湊町字本町9-1
移 JR陸奥湊駅から徒歩5分
営 8:30～17:00(月～金曜日)
休 土日
料 有料(問合せ) **P** 10台(大型バス可)
TEL 0178-35-4415

(八戸酒造株式会社・八戸屋形船「新井田丸」)



▲八戸屋形船・新居田丸

東北初の本格的な屋形船「新居田丸」は八戸港を一周する豊富なプランを取り揃えています。また、船宿「リバーサイドラウンジ・新井田屋」では隣接している八戸酒造(株)の八仙・男山をメインとしたお酒を楽しむことができます。



▲こたつ屋形船

おすすめ！

三陸鉄道こたつ列車、津軽鉄道ストーブ列車に並び厳冬の八戸港を航行する「こたつ屋形船」は、冬季限定プラン！情緒あふれる船内でも心も体も温まります！

⑤観光遊覧船案内所（沼館地区）

サメの形をした観光遊覧船「シャーク号」に乗って、八戸のまちを海から眺めてみませんか？陸上とは違ったスケールでお楽しみいただけます。うみねこが舞う季節にはエサやりを行うことも出来ます。



住 八戸市沼館4丁目地内 **移** JR本八戸駅から徒歩30分 **営** 4月～10月 **休** なし
料 大人1,200円(中学生以上)、子供 600円(3歳以上)、3歳未満無料 **P** 大型5台、普通20台 **TEL** 0178-34-2363(観光漁業食品)



▲観光遊覧船「シャーク号」

沼館緑地から出発し、河原木第一工業港を通過して八戸港を周遊します。



みなとオアシス十和田湖

奥入瀬溪流が流れ出る湖畔の港！

「みなとオアシス十和田湖」は全国初、湖のみなとオアシスとして登録されました。奥入瀬溪流の源である雄大な十和田湖のふもとに広がる休屋地区で構成されています。静かに立つ乙女の像をはじめ、自然と地域文化が調和したオアシスです。



エリア図



1次交通拠点からのルート



1次交通拠点からのアクセス

空港・新幹線駅

※所要時間は各交通機関のダイヤ等をもとにした最短時間です。
※ご旅行の際は、最新のダイヤ等をご確認下さい。

東京(羽田)
大阪(伊丹)
札幌(丘珠)

航空機

三沢空港

バス
16分

三沢駅

鉄道
20分

東京
新大阪
仙台

東北新幹線

バス
2時間15分

みなとオアシス十和田湖

フェリー

苫小牧

フェリー

八戸港
ターミナル

バス
30分

本八戸駅

鉄道
9分

高速道路

各方面

盛岡 I.C.

安代 J.C.T.

小坂 I.C.

50分

東北自動車道

見所とおすすめのグルメ・お土産



①十和田湖観光交流センター ぷらっと



十和田湖観光交流センターは、観光案内のほか、「十和田湖ひめす」の展示や十和田湖の発展に貢献した人々の紹介、交流室を備えた施設です。施設の愛称“ぷらっと”は、市民や観光客が気軽に立ち寄れるように、また、英語のプラットホームのように十和田湖観光の起点となることを願って命名されました。

住 十和田市奥瀬字十和田湖畔休屋486番地
移 JR八戸駅から車で2時間 **営** 9:00～17:00
休 12月1日～翌年3月31日
料 無料 **P** あり
TEL 0176-75-1531



▲生きた「十和田湖ひめす」の展示



▲「十和田湖発展に貢献した人々」関連資料の展示

施設の2階には、乙女の像を彫刻した高村光太郎のほか、十和田湖の発展に貢献した方の関連資料を展示しています。



②十和田湖ビジターセンター

国内第2位の規模を誇るカルデラ湖「十和田湖」のしくみを模型にて紹介したり、奥入瀬溪流、八甲田連峰の自然や四季折々の姿を紹介するハイビジョン映像やパネル写真などを展示しています。展示されている模型には五感を使って楽しむ仕掛けが沢山あります。観光のはじめに十和田湖の予習をするもよし、散策の休憩に立ち寄るもよし。木のぬくもりに包まれたひとときを楽しむことができます。

住 十和田市奥瀬字十和田湖畔休屋486番地
移 JR八戸駅から車で約2時間 **営** 9:00～16:30
休 毎週水曜日、12月29日～1月3日
料 無料 **P** あり
TEL 0176-75-1015

(4月下旬～5月下旬、7月下旬～10月下旬は無休)



▲常設展「十和田湖周辺の生態系」



木のぬくもりを感じられる施設内では湖の成り立ちや取り巻く樹木の標本、生息している野鳥の模型などを展示しています。四季折々の自然を紹介し、センターの一角ではバードウォッチングの紹介も行われています。

周辺の観光名所・グルメ・お土産



乙女の像

十和田湖国立公園指定15周年を記念して、昭和28年に建てられた乙女の像は、彫刻家であり詩人でもある高村光太郎の最後の作品として知られ、完成まで1年余りを要しました。高さ2.1mの二人の裸婦が左手を合わせ向かい合っており、光太郎の愛妻・智恵子夫人を模したものとされています。

遊覧船

十和田湖の子ノ口港・休屋港からそれぞれ遊覧船が出航しています。湖上の蒼さ、220メートルに及ぶ絶壁千丈幕など、四季折々の彩りを感じることができます。夏に行われる十和田湖湖水まつりでは、普段の遊覧コースでは巡ることのできない場所まで足を伸ばせる特別なプログラムがあります。運航期間は4月～11月。



十和田湖神社

開運のご利益があると言われているパワースポット。十和田神社と湖畔をつなぐ散策道「開運の小道」や「子宝の木」と呼ばれている御神木など、原生林に抱かれ、神秘的な雰囲気にも包まれた周辺の散策も楽しめます。

十和田湖ひめす

平成27年1月に地域団体商標登録となった「十和田湖ひめす」。ピンクがかった身や独特の食感と甘みが魅力。刺身や塩焼きのほか、天重やひめす親子飯など食べ方も豊富。十和田湖を訪れたらぜひ堪能ください。



十和田湖のアップルパイ

秋田県側にお店を構えている「十和田湖マリブルー」では手作りアップルパイを提供しています。さくさくの生地と青森県産りんごがベストマッチな一品です。十和田湖散策の休憩に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。





青函圏を繋ぎ、歴史を紡ぎ、未来へ運ぶ船達

1. クルーズ船

【みなとオアシス函館、おおみなと、あおもり、八戸】



▲青森港新中央埠頭でのねぶた囃子による出港セレモニー



▲函館港西ふ頭での園児による出港のお見送り

豪華クルーズ船に乗って、世界中のお客様が、ここ青函圏を訪問しています。平成27年度は、青森港で22隻、函館港で15隻、大湊港で2隻、八戸港で1隻のクルーズ船が寄港しています。港に足を運ぶと運が良ければ、豪華なクルーズ船とその歓迎イベントに出会えます。

2. 八甲田丸

みなとオアシス登録施設



【みなとオアシスあおもり】



昭和39年に就航した八甲田丸は歴代の青函連絡船55隻のなかで23年7か月と現役期間が1番長かった船で、青函連絡船の青森港最終航行船の大役も務めました。青函連絡船の80年の歴史や構造を知ることが出来る数々の資料の他、1F車両甲板には、郵便車両など本物の鉄道車両が当時のままで展示されています。

3. 開陽丸

みなとオアシス登録施設



【みなとオアシス江差】



オランダで建造された開陽丸は幕末、鳥羽伏見の戦い、江戸城開城、徳川幕府崩壊を見届け、1868年10月に江戸を出帆、12月に蝦夷地に到着。箱館戦争最中の1868年12月土方歳三らの陸軍支援のため江差に向かうも、海路江差沖で暴風雪に遭い、あえなく座礁、沈没。現在は当時の原寸大で復元されています。

4. 摩周丸

みなとオアシス周辺の施設

【みなとオアシス函館】



昭和63年の青函連絡船最後の日までで運航していた摩周丸を実際の乗り場であった旧函館第二岸壁に係留・保存して公開しています。操舵室(船橋)・無線通信室が当時のまま残り見学できるほか、前部グリーン船室を展示室に改装して、実物部品・模型等を展示するとともに、パネル・映像・音声で青函連絡船の歴史やしくみを解説しています。

5. フェリー

青函圏を結ぶ旅客船

【みなとオアシス函館、大間、あおもり】



昭和63年に青函連絡船が廃止されてからも、北海道と本州の物流・人流を担う重要な交通として、函館と青森・大間の間にフェリー航路が就航しています。函館と、最短3時間40分で青森を、90分で大間を結び、マイカーを乗せることもできるので、青函圏の観光・交流において、さらなる活躍が期待されています。

6. ポーラスター

青森市と下北半島を結ぶ旅客船

【みなとオアシスあおもり】



青森市と下北半島を結ぶ、旅客船「ポーラスター」が1日2往復就航しています。青森から脇野沢(むつ市)を60分で、青森から佐井村を2時間30分で結んでいます。

【佐井→青森】					
便	佐井発	福浦発	牛滝発	脇野沢発	青森着
1便	7:00	7:25	7:40	8:30	9:30
3便	12:30	12:55	13:10	14:00	15:00
【青森→佐井】					
便	青森発	脇野沢発	牛滝発	福浦発	佐井着
2便	9:40	10:40	11:20	11:40	12:05
4便	15:10	16:20	17:00	17:15	17:40

津軽海峡フェリー

【函館→青森】		
便	函館発	青森着
4	3:10	6:50
8	7:40	11:20
14	12:00	15:40
16	14:00	17:50
18	17:30	21:10
22	20:15	23:55
24	22:05	翌1:45
26	23:50	翌3:40
【青森→函館】		
便	青森発	函館着
3	2:40	6:20
5	5:20	9:00
7	7:40	11:30
11	10:00	13:40
13	14:20	18:00
17	17:05	20:45
19	19:10	23:00
23	22:25	翌2:05

青函フェリー

【函館→青森】		
便	函館発	青森着
2	2:00	5:50
4	4:30	8:30
6	8:10	12:10
8	11:35	15:25
10	14:35	18:25
12	18:00	21:50
14	20:30	0:20
16	23:30	3:20
【青森→函館】		
便	青森発	函館着
1	2:00	5:50
3	4:30	8:30
5	8:10	12:10
7	11:35	15:25
9	14:35	18:25
11	18:00	21:50
13	20:30	0:20
15	23:30	3:20

津軽海峡フェリー

【函館→大間】		
便	函館発	大間着
6	注1) 9:30	注2) 11:00
10	16:30	18:00
【大間→函館】		
便	大間発	函館着
5	7:00	8:30
9	14:10	15:40

注1) 4月1日までは9:10
注2) 4月1日までは10:40

津軽海峡フェリー

青森支店 TEL 017-766-4733
函館支店 TEL 0138-43-4545
大間支店 TEL 0175-37-3111

青函フェリー

青森支店 TEL 017-782-3671
函館支店 TEL 0138-42-5561

TEL 017-722-4545 (シライネ株式会社)

※年末年始

※年末年始に一部運休あり

※時刻表は変わることがありますので必ず船会社に運航状況を問い合わせの上ご利用ください。
年末年始・船舶定期検査・荒天による運休便がある場合がございます。

Sea級グルメとは？

みなとオアシスが位置する地元のみなとで水揚げされた海産物や、みなとオアシスの背後地域で地産地消される名産品を用いてつくられ、「ぜひ多くの人に味わってほしい」と自信を持ってお勧めできる飲食物です。

1. 史伝 江差にしん丼 【みさとオアシス江差】



「歴史が伝える味」という意味合いから名付けられた「史伝 江差にしん丼」。古くから地域の人々に親しまれてきた食材である「にしん」と地元産の米を使用し、「舞茸」を使用した汁物添え、「こうれん」を入れたものとなっています。江差町内の飲食店で食べることができます。

2. けいらん 【みさとオアシス江差】



江差町の家庭に古くから伝わる郷土料理。鶏の卵のような姿が名前の由来で、餅生地であんこを包み、醤油ベースのお吸物に入れていただきます。江差いにしえ街道の皐月蔵チャミセで頂くことができ、あんこではなく五勝手屋羊羹を包んで作ることもあるようです。

3. イカ飯 【みさとオアシス函館】



函館市の魚は「イカ」。イカ飯は、そのおいしいイカの足と内臓を抜き取り、中にお米や餅米を詰め込んで、お醤油、砂糖、酒などで味付けをし、じっくりと煮込んで作ります。イカ飯は、お祝い事や来客があるときに作られる「家庭の味」ですが、冷めてもおいしいので、お弁当やイベントなどでも活躍しています。

4. ごっこ汁 【みさとオアシス函館】



最近テレビの旅番組でも、ぷっくり愛らしい姿で注目を集めている珍魚「ごっこ」。何といっても評判は、コラーゲンたっぷりのプルプルした身が入った「ごっこ汁」です。

※冬季限定料理となります。

5. マグロバーガー 【みさとオアシス大間】



大間マグロの部位などを使ったハンバーグに、パンは大間産のアラメ昆布と米粉を練り込んでます。イベント限定ですので、是非一度ご賞味あれ！

6. みそ貝焼き(みそかやき) 【みさとオアシスおおみなと】



江戸時代に陸奥湾の漁師が、ホタテの貝殻を鍋の代わりにして魚を調理して食べたのが、「みそ貝焼き」のルーツと言われています。今では、ホタテやウニ、豆腐、長ネギなどをぐつぐつと煮込み、味噌を溶き入れ、卵でとじるというスタイルが一般的になりました。お店によって具材や味付けに特徴があるので、違いを楽しみながら食べてみるのも、また一興ではないでしょうか。

7. 大湊海軍コロッケ 【みさとオアシスおおみなと】



海軍コロッケは、旧日本海軍がその栄養価の高さから食事に取り入れたものであり、大湊の海軍部隊が発祥であると言われています。この大湊ゆかりのメニューを地域内外の多くの人に食べてもらい、下北の魅力を広めようと作られたのが「大湊海軍コロッケ」。旧海軍のレシピにならい、「ヘット(牛脂)」を使って揚げられるのが特徴で、香ばしい香りが食欲をそそります。コロッケの中には、いか、ホタテなど、お店によって様々な具が入っています。

8. 青森生姜味噌おでん 【みさとオアシス青森】



戦後、青森駅周辺の屋台の女将さんが、冬の厳しい寒さの中、青函連絡船に乗り込む乗客の体を少しでも暖めようと、味噌だれに生姜をすりおろして入れたのが喜ばれ、広まったものです。つづ貝、こんにゃく、大根、根曲がり竹など具材も様々あり、心も体も暖まる青森の「ふるさとの味」が楽しめます。

9. 八戸くじら汁 【みさとオアシス八戸】



祭日・正月に昔から食べられてきた郷土の祝い料理で、館鼻地区にある観光案内所兼産直食堂「みなとの駅」で食べることができます。

※イベント時のみの提供となります。

10. いか・うにバーガー 【みさとオアシス八戸】



スルメイカの水揚げ日本一を記録している八戸の新たなグルメ、いか・うにバーガー。八戸で水揚げされたスルメイカのミンチをカリカリに揚げ、これも八戸で水揚げされたウニの濃厚なドレッシングをあわせ一品。

※イベント時のみの提供となります。

人々の心を魅了する港の夜景

1. 函館山

【み谷とオアシス函館】



夜景に関するアンケート(JTB実施)で、「最も印象的だった場所」として、他を圧倒的に引き離しての国内トップに輝いた函館の夜景です。何度でも見に行きたくなる魔法の輝きです。

2. 釜臥山

【み谷とオアシスあおみなど】



標高785mに位置している展望台には双眼鏡やベンチがあり、夜景を楽しむことができます。市街地や陸奥湾を中心に眺めることができ、その容姿はアゲハ蝶が夜空に羽ばたくように見えるため「夜のアゲハチョウ」と称されています。平成16年8月出版の「日本夜景遺産」に紹介され、同じく同年8月に日本夜景100選にも選定されました。

3. 青森ベイ・フロムナード

【み谷とオアシスあおもり】



陸と直接つながり、一般の方々が自由に入出りできる防波堤で、12月～3月の冬期間を除く夜間は安全対策のため照明が設置してあり、海側から市街地の夜景を見ることができます。

4. 工場夜景

【み谷とオアシス八戸】



工業港の特色をもつ八戸港は工場夜景を楽しむことができます。夜通し稼働している工場の明かりや漁港区にあつまる漁船の明かりがマッチし、幻想的な夜景を作り出します。館鼻公園のぐれっとタワーから望む景色は圧巻です。

5. 星空・夜景ロープウェイ

【み谷とオアシスあおもり】



1年間で9月の数日間だけしか実施していない八甲田ロープウェイの山頂公園駅から見る夜景です。限られた人しか見ることができない、特別な夜景で、八甲田から見る夜空に輝く星や、青森港、津軽平野を囲む夜景をどうぞお楽しみ下さい。

夏の思い出、夜空を彩る港の花火大会



1. 函館港まつり協賛 道新花火大会

【みごとオアシス函館】



8月1日～5日に開催される「函館港まつり」のオープニングを飾る花火大会です。ワイドスターマインや水中花火が打ち上げられ、港に面したすべての場所で見物できます。花火と夜景が同時に楽しめる函館山からの観賞もおおすすめです。

2. 大間町ブルーマリンフェスティバル花火大会

【みごとオアシス大間】



大間の夏を飾る一大イベント「大間町ブルーマリンフェスティバル」の最後に打ち上げられます。下北最大級（約5,000発）の花火が夜空を美しく彩ります。

3. むつ市花火大会

【みごとオアシスおおみなど】



しもきた克雪ドーム付近の大平岸壁で3,000発の花火が夜空を染めます。会場には、大湊ネブタに出陣するネブタが集まり、ネブタと花火の競演が楽しめます。

4. 青森ねぶた祭協賛 青森花火大会

【みごとオアシスあおもり】



8月2日～7日に開催される「青森ねぶた祭」の最終日に花火が打ち上げられます。祭りで賞をとったねぶたが海上を運行し、その頭上で約10,000発が花開くので、ねぶたと花火のコラボレーションを観賞することができます。

5. 八戸花火大会

【みごとオアシス八戸】



8月中旬、八戸港を背景にスターマインなどの大仕掛け花火が夜空を彩ります。約5,000発の花火が打ち上げられ、大迫力の花火が体験できます。

6. 十和田湖湖水まつり

【みごとオアシス十和田湖】



約2,000発の花火が十和田湖の水面を鮮やかに染め上げます。水中花火や棧橋を利用した仕掛け花火、遊覧船による花火観覧を体験することができます。

港の熱い夏祭



1. 江差・姥神大神宮渡御祭

【みなとオアシス江差】

8月9・10・11日 江差町が最も熱くなる大祭。370有余年の歴史を誇り、北海道最古のお祭と言われています。絢爛豪華な13台の山車が姥神大神宮の神輿行列に供奉し、町内を練り歩く様は圧巻です。



2. 函館港まつり

【みなとオアシス函館】

8月1日～5日 函館の夏、最大のイベントで、「道新花火大会」や2万人の市民が「函館港おどり」、「函館いか踊り」を踊りながら、街を練り歩く「ワッショイはこだて」など、市内一円が多彩なイベントで賑わいます。



3. 大間町フルーマリNFLフェスティバル

【みなとオアシス大間】

8月14日 舟競争大会、歌謡ショー、マグロ解体ショーなどが行われ、中でも舟競争大会は賞金があるため、激しい海の戦いが繰り広げられます。夜には盛大な花火大会も行われます。



4. 大湊ネブタ

【みなとオアシスおおみなと】

8月第一金・土・日 大湊ネブタは130年の歴史誇る伝統の祭り。町内会など地域住民の手によって制作、運行されるのが他地域とは異なる特徴です。運行は基本的に引き手、流し踊りと笛、太鼓による囃子方により町内を練り歩くお祭りです。



5. 八甲田丸港フェスタ

【みなとオアシスあおもり】

7月中旬 フードコーナー、イワナのつかみどり・ホタテの釣り体験、ミニSL乗車会、Mr.防波堤コンテストや青森港内体験クルージングを開催。



6. 青森ねぶた祭

【みなとオアシスあおもり】

8月2日～7日 22台の大型ねぶたが出陣し、約3.1kmのコースを運行します。正装であれば、誰でも参加することが出来ます。最終日には、受賞した6台のねぶたが海上を運行し、11,000発の花火とともに祭りのフィナーレを飾ります。受賞ねぶたは、ワラッセに展示されます。



7. 種差海岸観光まつり

【みなとオアシス八戸】

7月中旬 名勝種差海岸にある天然芝地で開催され、たこ揚げ大会や海産物即売会など催し物が目白押し。青い海と緑の芝生、種差海岸の初夏の風を楽しむことができます。



8. 八戸港カッターレース

【みなとオアシス八戸】

8月上旬 6人こぎのカッターボートを使いレースのタイムを競います。横浜市、神戸市に次ぐ規模で開催され、八戸市民はもちろんのこと、全国から挑戦者が集まります。



1. はこだてクリスマスファンタジー

【みなとオアシス函館】

12月1日～25日 姉妹都市であるカナダのハリファックス市から寄贈される20mを越えるモミの木が装飾されクリスマスツリーとして設置され、イベント期間中は点灯式とともに花火が打ち上げられます。



2. 青森灯りと紙のページェント

【みなとオアシスあおもり】

12月上旬～2月上旬 ねぶた技法でつくられたオブジェがバイエリアを彩る灯りと紙のイルミネーションイベントです。



3. 八甲田丸イルミネーション

【みなとオアシスあおもり】

12月下旬～2月上旬 八甲田丸の外観を色彩豊かなイルミネーションで彩ります。



4. あおもり雪灯りまつり

【みなとオアシスあおもり】

1月下旬 手作りの雪灯り3,000個が厳冬期の澄んだ空気に美しく優しく揺らぎ、醸し出す雰囲気は訪れた人々の心を魅了します。



5. 十和田湖冬物語

【みなとオアシス十和田湖】

2月上旬～下旬 乙女の像ライトアップ、津軽三味線などのステージ、ゆきあかり横丁、冬の澄んだ夜空を彩る花火など、様々なイベントが行われます。



6. 青森冬まつり

【みなとオアシスあおもり】

2月上旬 雪のすべり台や、棒パンコーナーや乗馬体験など多彩な催しで、子供から大人まで楽しめます。



7. ザ・もつけ祭&冬花火

【みなとオアシスあおもり】

2月上旬 ねぶた御輿のパレードで会場が盛り上がり、ふんどし姿の男たちが雪上綱引きで荒ぶれ、冬の打上げ花火で盛大なフィナーレを飾ります。



青函圏みなとオアシスのイベントカレンダー

蕪嶋まつり【八戸】

毎年4月中旬 国の天然記念物に指定されている蕪島。まつり当日は、神社の神輿運行をはじめ様々な催しが行われます。



むつ桜まつり【おおみなと】

4月29日～5月6日 水源池公園のステージで吹奏楽部の演奏会やバンド演奏を開催されます。アーチ式ダムのライトアップも実施。



大湊海軍まつり【おおみなと】

毎年5月下旬 海上自衛隊大湊音楽隊やフェアセーリングの演奏を実施。海軍カレーや海軍グッズの販売もしています。



活!!江差海鮮みなとイカ刺し祭り【江差】

毎年7月第1金 水揚げしたばかりの活イカなどを浜のお母さんがその場で捌いて提供します。イカ釣り体験や郷土芸能披露などの催し物も。



青森安潟みなとまつり【あおもり】

7月中旬～下旬 海と安潟にきつと恋をする。ジャパンプルースコンサート、サマーコンサート、巨大フードスクエアや海のポート天国を開催。



大漁祈願祭【大間】

7月18日 海の日に合わせ、海上操業の安全と豊漁を祈願します。大漁旗をひるがえし、漁船が一斉に海へ繰り出し沖合で神楽の奉納を行います。



八戸港カッターレース【八戸】

毎年8月上旬 横浜市、神戸市に次ぐ規模で開催され、6人ごしのカッターボートを使ってレースのタイムを競います。



青森ねぶた祭【あおもり】

毎年8月2日～7日 22台の大型ねぶたが出陣し、約3.1kmのコースを運行します。正装であれば、誰でも参加することが出来ます。



大湊ネブタ【おおみなと】

毎年8月第一金・土・日 130年の歴史誇る伝統の祭。運行は基本的に引き手、流し踊りと笛、太鼓による囃子方により町内を練り歩くお祭りです。



大間町ブルーマリンフェスティバル【大間】

毎年8月14日 舟競争大会、歌謡ショー、マグロ解体ショーなどが行われる。中でも舟競争大会は賞金があり、激しい戦いが繰り広げられ、夜には盛大な花火大会も。



GO! GO! ウィーク【あおもり】

4月29日～5月6日 ねぶた囃子実演、ハネト体験、ゆるキャラのイベントやベリーダンス＆よさこい演舞を開催。



アスパム春まつり【あおもり】

4月29日～5月6日 あおもりご当地グルメ屋台村やあおもり特選品フェアを開催。



江差かもめ島まつり【江差】

毎年7月第1土・日 江差町のシンボルかもめ島を舞台に行う江差町3大祭。メインは、若い漁師がフンドシー丁で行う、瓶子岩大しめ縄なえ・飾り。



はこだてマリンフェスティバル【函館】

毎年7月中旬 海の日記念事業の一環で、みなとパネル展、函館港で活躍する官庁船見学会など、様々なイベントを開催。



十和田湖湖水まつり【十和田湖】

7月中旬 十和田湖に夏の訪れを告げるイベント。夜には夜空に輝く花火と湖畔に映し出される光のハーモニーをお楽しみいただけます。



八甲田丸みなとフェスタ【あおもり】

毎年7月中旬 フードコーナー、イワナのつかみどり・ホタテの釣り体験、ミニSL乗車会、Mr.防波堤コンテストや青森港内体験クルージングを開催。



種差海岸観光まつり【八戸】

毎年7月中旬 名勝種差海岸の天然芝生地で開催されるイベント。海産物即売会など港町ならではの出店がいっぱい。



函館港まつり【函館】

8月1日～5日 函館の夏、最大のイベントで、函館港の花火大会や市民が踊りながら練り歩く「ワッショイはこだて」など、多彩なイベントで賑わいます。



青森花火大会・ねぶた海上運行【あおもり】

毎年8月7日 受賞した6台のねぶたが海上を運行し、11,000発の花火とともに祭のフィナーレを飾ります。



江差・姥神大神宮渡御祭【江差】

8月9日～11日 江差町が最も熱くなる、370有余年の歴史を誇る北海道最古の祭。絢爛豪華な13台の山車が神輿行列と練り歩く様は圧巻。



3月

4月

5月

6月

7月

8月

日曜日はマグロだDAY【大間】

9月～10月の毎週日曜日 大間でとれた活きのいいマグロの解体ショーとマグロの即売会が開催されます。
(10月30日はマグロ祭りとなります。)



江差追分全国大会【江差】

毎年9月第3金・土・日 江差町の3大祭り、民謡の王様といわれている江差追分を全国から選り抜かれた約400人が本場の江差町に集まり日本一を競います。



朝焼け夕焼け横揚げ～大間超マグロ祭り【大間】

10月29日～30日 大間最大のマグロイベントとなっており、マグロ解体ショー、マグロの即売会、特産品の販売、歌謡ショーなど盛りだくさんです。



はこだてクリスマスファンタジー【函館】

12月1日～25日 姉妹都市のハリファクス市から寄贈されるモミの木がクリスマスツリーとして設置され、点灯式とともに花火が打ち上げられます。



八甲田丸イルミネーション【あおもり】

毎年12月下旬～2月上旬 八甲田丸の外観を色彩豊かなイルミネーションで彩ります。



十和田湖冬物語【十和田湖】

2月上旬～下旬 乙女の像ライトアップ、津軽三味線などのステージ、ゆきあかり横丁、冬の澄んだ夜空を彩る花火など、様々なイベントが行われます。



ザ・もつけ祭&冬花火【あおもり】

毎年2月上旬 ねぶた御輿のパレードで会場が盛り上がり、ふんどし姿の男たちが雪上綱引きで荒ぶれ、冬の打上げ花火で盛大なフィナーレを飾ります。



はこだてグルメサーカス【函館】

9月5日、6日 世界から日本各地から、函館とゆかりのある都市の「美食」が集結する函館最大級のグルメイベントです。



アスパム秋の食の祭典【あおもり】

9月19日～23日 グルメあり！イベントあり！お楽しみ満載のアスパム・シルバーウィーク。



青森県市町村まつりinアスパム

10月31日～11月1日 アスパムに県内40市町村の魅力が大集合し物産販売を開催します！



青森灯りと紙のページェント【あおもり】

毎年12月上旬～2月上旬 ねぶた技法でつくられたオブジェがベイエリアを彩る灯りと紙のイルミネーションイベントです。



あおもり雪灯りまつり【あおもり】

毎年1月下旬 手作りの雪灯り3,000個が厳冬の澄んだ空気に美しく優しく揺らぎ、醸し出す雰囲気は訪れた人々の心を魅了します。



青森冬まつり【あおもり】

毎年2月上旬 雪のすべり台や、棒パンコーナーや乗馬体験など多彩な催しで、子供から大人まで楽しめます。



9月

10月

11月

12月

1月

2月

※毎年開催時期が決まっているものは、頭に「毎年」と記載しています。
※頭に「毎年」と記載していないものは、H27年度の開催日です。

クルーズ船の寄港【函館、おおみなと、あおもり、八戸】

4月～10月 世界各国の人々がクルーズ船に乗って、函館、青森等を訪れています。クルーズ船を観ながら、みなとまちならではの雰囲気を堪能できます。



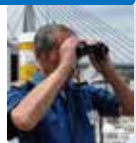
青森ベイ・プロムナード【あおもり】

4月～11月 防波堤の先端部まで散策が可能で、海側から市街地のロマンチックな夜景を見ることができます。



イルカウォッチング【あおもり】

春 毎年春頃、津軽海峡・むつ湾にイルカが回遊してきます。ぜひ青森ウォーターフロントでイルカを探してみたいかですか？



館鼻岸壁朝市【八戸】

3月中旬～12月中 毎週日曜日の日の出～9時頃まで開催され、出店数は約300店舗で新鮮な農林水産物、衣類、雑貨、飲食店などが並び大変賑わっています。



1日目 「みなとオアシス江差、函館」を楽しむ！〔函館市内泊〕

東京



函館

車で 1時間50分

みなとオアシス江差

車で 1時間50分

みなとオアシス函館

函館市内泊

●「東京」から「函館」に最も早く行くには？

【飛行機】

東京(羽田空港) 6:50 → 函館空港 8:10

【新幹線】

東京駅 6:32 → 新函館北斗駅 10:58



▲開陽丸



▲かもめ島



▲赤レンガ倉庫群



▲函館山から見た函館港



▲史伝 江差にしん丼



▲けいらん



▲名物イカ刺し



▲新鮮な海鮮

2日目 「みなとオアシス函館、大間、おおみなと」を楽しむ！〔むつ市内泊〕

みなとオアシス函館

フェリーで 90分

みなとオアシス大間

車で 1時間20分

みなとオアシスおおみなと

むつ市内泊



▲函館朝市

津軽海峡フェリー

函館港 注1) 9:30

↓ 大間港 注2) 11:00

注1) 4月1日までは9:10

注2) 4月1日までは10:40



▲鮮度抜群！各店自慢の海鮮丼



▲キューレイ(旧冷蔵庫)



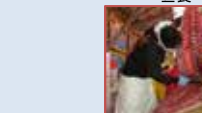
▲大間崎レストハウス (観光案内所)



▲北の防人大湊 安渡館



▲釜臥山から見た大湊港



▲大間のマクロ



▲みそ貝焼き



▲大湊海軍コロッケ

3日目 「みなとオアシスあおもり」を楽しむ！〔青森市内泊〕

みなとオアシスあおみなと



みなとオアシスあおもり

青森市内泊

●「むつ」から「青森」に行くには？

【鉄道 1時間29分】

下北駅 5:16 → (野辺地駅経由) → 青森 7:20

下北駅 6:28 → (野辺地駅経由) → 青森 8:20

下北駅 8:09 → (野辺地駅経由) → 青森 10:24

...

【自動車 2時間30分】



▲青函連絡船メモリアル湿布八甲田丸



▲ねぶたの家ワ・ラッセ



▲A-FACTORY



▲青森県観光物産館アスパム



▲青森ベイ・ブルムナードから見た夜景

4日目 「みなとオアシス十和田湖、八戸」を楽しむ！〔八戸市内泊〕

みなとオアシスあおもり

車で 1時間50分

みなとオアシス十和田湖

車で 2時間20分

みなとオアシス八戸

八戸市内泊



▲十和田湖観光交流センター ぱらっと



▲十和田ビジターセンター



▲八戸屋形船「新井田丸」から見た魚市場の夜景



▲八戸屋形船「新井田丸」船内

夕食(八戸屋形船「新井田丸」で夜景を眺めながら...)

5日目 「みなとオアシス八戸」を楽しむ！

みなとオアシス八戸



東京



▲八戸館鼻岸壁朝市



▲燕島



▲水産科学館マリエント



▲八戸酒造株式会社

●最後まで「八戸」を満喫したいときは？

【飛行機】

三沢空港 19:00 → 東京(羽田空港) 20:25

【新幹線】

八戸駅 20:12 → 東京駅 23:04

周遊観光モデルプラン2 青森・函館周遊



※ご旅行の際は、各交通機関の最新のダイヤ等をご確認下さい。

1日目 「みなとオアシスあおもり」を楽しむ！【青森市内泊】

東京



みなとオアシスあおもり



青森市内泊

●「東京」から「青森」に最も早く行くには？

【飛行機】

東京(羽田空港) 7:35 → 青森空港 9:00

【新幹線】

東京駅 6:32 → 新青森駅 9:50



▲青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸



▲ねぶたの家ワ・ラッセ



▲A-FACTORY



▲青森県観光物産館アスパム



▲あおもり北のまほろば歴史館



▲青森ベイ・プロムナードから見た夜景

2日目 「みなとオアシスあおもり、函館」を楽しむ！【函館市内泊】

みなとオアシスあおもり



フェリーで
3時間40分～4時間

みなとオアシス函館



函館市内泊



▲青森フェリーターミナル
(津軽海峡フェリー)



▲青森港フェリーターミナル
(青函フェリー)

津軽海峡フェリー

青森港 7:40 → 函館港 11:30

青森港 10:00 → 函館港 13:40

⋮

青函フェリー

青森港 8:10 → 函館港 12:10

青森港 11:35 → 函館港 15:25

⋮



▲赤レンガ倉庫群



▲国際水産・海洋総合研究センター



▲函館山から見た函館港

夕食(函館グルメを召し上がれ！)



▲函館しおラーメン



▲名物イカ刺し



▲緑の島

3日目 「みなとオアシス函館」を楽しむ！

みなとオアシス函館



東京



▲函館朝市



▲鮮度抜群！各店自慢の海鮮丼

●最後まで「函館」を満喫したいときは？

【飛行機】

函館空港 19:30 → 東京(羽田空港) 21:00

【新幹線】

新函館北斗駅 18:36 → 東京駅 23:04

周遊観光モデルプラン3 青函圏の船旅

津軽海峡の朝日と夕日



津軽海峡は、東側は太平洋に、西側は日本海に繋がっています。函館港、大間港、青森港をフェリーで行き来する際は、時間帯によって船上から美しい朝日と夕日を見ることができます。少し早起きをして早朝のフェリーに乗り、その日の旅の始まりに津軽海峡の朝日を見られるのもフェリーに乗った際の特別なサービスです。

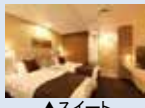
カジュアルクルーズ。それは海を走る、上質なカテゴリー (津軽海峡フェリー)



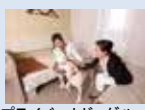
▲ブルーマーメイド



▲ビューシート



▲スイート



▲プライベートドッグルーム

津軽海峡フェリーでは、ホテルのような個室や海を眺めながら寛げるリクライニング席の「ビューシート」など、船舶により多様な客室を備え、揺れの少ない大型フェリーで快適な「カジュアルクルーズ」を楽しむことができます。船内はキッズルームやゲームコーナー、シャワールームなどフリースペースも充実。その他愛犬と一緒に過ごせる「プライベートドッグルーム」や「ドッグルーム」など、様々な旅行形態にも対応しています。平成26年4月に投入した大型船「ブルーマーメイド」と同型の大型船が、平成28年度に2隻投入される予定で、青函圏のみなとオアシスを巡る旅の移動手段がより充実します。

出かけよう海峡の船旅へ

(青函フェリー)



▲ロビー



▲ビューシート



▲ステートルーム

青函フェリーは知る人ぞ知るフェリー！

平成26年就航の『はやぶさ』は、ご家族や仲間と楽しく過ごせるスペースがいっぱい！プライベートルームは、広くゆったりと過ごせる空間です。“ちょっとそこまで”さあ、出かけよう海峡の船旅へ！！

1次交通の拠点と最寄りオアシス

新幹線

- 新函館北斗駅(最寄りオアシス②函館)
 - ・東京から4時間2分
 - ・仙台から2時間30分
 - ・札幌から函館 3時間32分(特急)
- 新青森駅(最寄りオアシス⑤あおもり)
 - ・東京から2時間59分
 - ・新大阪から6時間3分
 - ・仙台から1時間27分
 - ・札幌から5時間33分(特急)
- 八戸駅(最寄りオアシス⑥八戸)
 - ・東京から2時間47分
 - ・新大阪から5時間23分
 - ・仙台から1時間11分

※所要時間はダイヤ等をもとにした最短時間です。

※ご旅行の際は、各交通機関の最新のダイヤ等をご確認下さい。

飛行機

函館空港(最寄りオアシス②函館)

- ・東京(羽田)から1時間20分
- ・大阪(伊丹)から1時間40分
- ・名古屋(中部)から1時間30分
- ・札幌(新千歳、丘珠)から40分

青森空港(最寄りオアシス⑤あおもり)

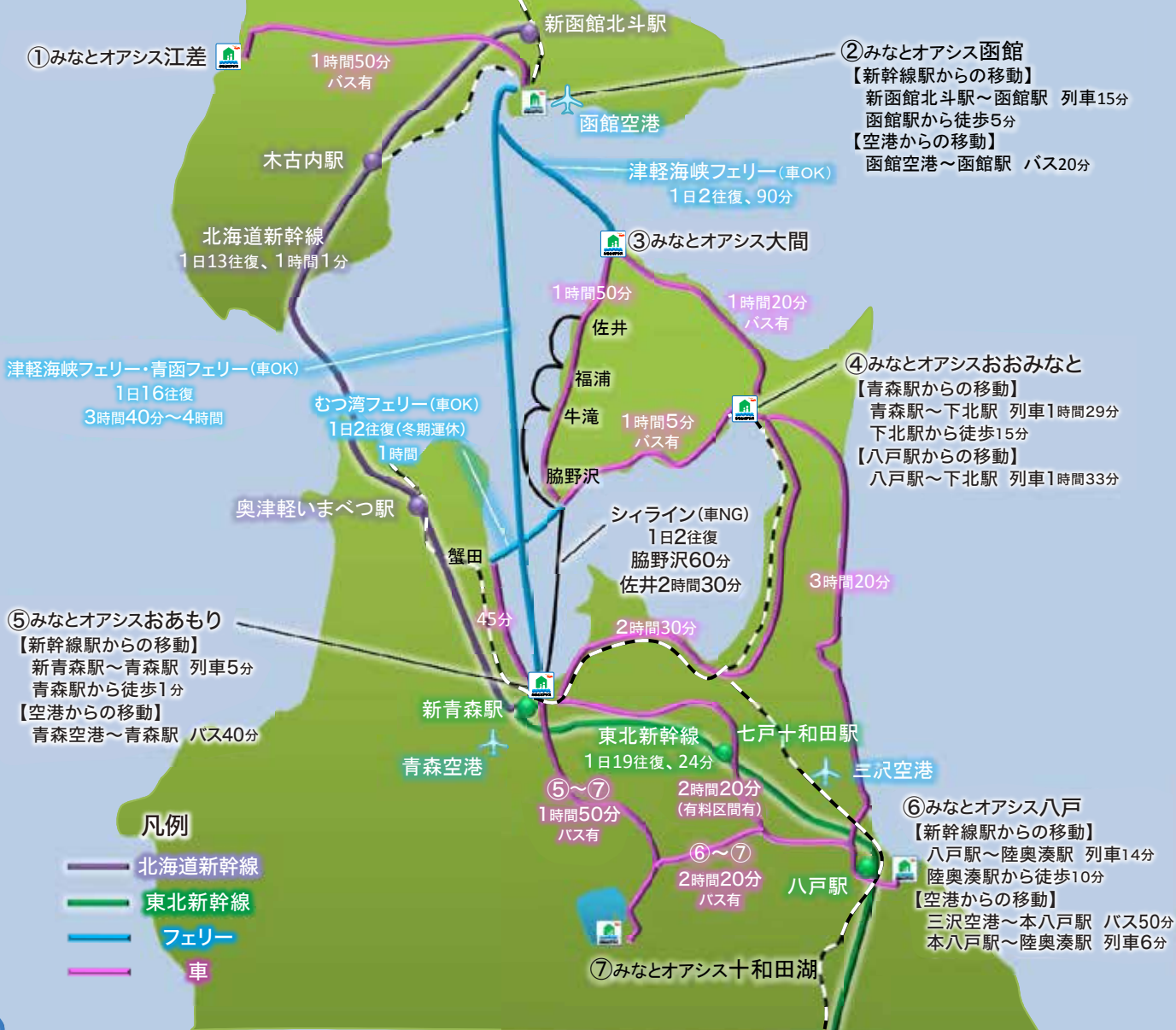
- ・東京(羽田)から1時間20分
- ・大阪(伊丹)から1時間35分～55分
- ・名古屋(小牧)から1時間15分
- ・札幌(新千歳)から50分

三沢空港(最寄りオアシス⑥八戸)

- ・東京(羽田)から1時間25分
- ・大阪(伊丹)から1時間45分
- ・札幌(丘珠)から1時間



1次交通の拠点(空港・新幹線駅)とオアシス間の移動ルート



青函圏みなとオアシス間の移動



- ①江差 ⇔ ②函館 車 1時間50分、バス有 ※所要時間はダイヤ等をもとにした最短時間です。
※ご旅行の際は、各交通機関の最新のダイヤ等をご確認下さい。
- ②函館 ⇔ ③大間 津軽海峡フェリー(車OK) 1日2往復、90分
⇔ ⑤あおもり 津軽海峡・青函フェリー(車OK) 1日16往復、3時間40分
JR(北海道新幹線 & 在来線: 函館⇔新函館北斗⇔新青森⇔青森) 1日13往復、1時間47分
- ③大間 ⇔ ④おおみなと 車 1時間20分
⇔ ⑤あおもり 車 3時間50分、むつ湾フェリー & 車 1日2往復(冬季運休) 3時間35分
- ④おおみなと ⇔ ⑤あおもり 車 2時間30分、JR & 青い森鉄道 1時間56分
むつ湾フェリー & 車 1日2往復(冬季運休) 2時間50分
⇔ ⑥八戸 車 3時間20分、JR & 青い森鉄 1時間37分
- ⑤あおもり ⇔ ⑥八戸 車(有料区間有) 2時間20分
青い森鉄道(八戸⇔青森) 1時間32分
JR(東北新幹線 & 在来線: 八戸⇔新青森⇔青森) 17往復、42分
⇔ ⑦十和田湖 車 1時間50分、バス有
- ⑥八戸 ⇔ ⑦十和田湖 車 2時間20分、バス有

東北新幹線・北海道新幹線

下り		はやて		はやぶさ							
		91号	93号	95号	1号	3号	5号	7号	9号	11号	13号
東京	発				6:32	7:36	8:20	8:40	9:08	9:36	10:20
仙台	着				8:04	9:10	9:51	10:15	10:40	11:07	11:52
	発			6:40	8:06	9:12	9:52	10:16	10:42	11:08	11:54
八戸	発		7:27	8:36	9:22	10:32	↓	11:27	12:02	↓	13:05
七戸十和田	発		7:40	8:49	9:35	10:45	↓	↓	12:14	↓	↓
新青森	着		7:55	9:04	9:50	11:00	11:19	11:51	12:29	12:35	13:29
	発	6:32	7:57	9:06	9:52		11:21			12:37	13:31
木古内	発	7:25	8:50	↓	10:45		↓			↓	14:24
新函館北斗	着	7:38	9:03	10:07	10:58		12:22			13:38	14:37
下り		はやぶさ									
		17号	19号	21号	23号	25号	27号	29号	31号	33号	35号
東京	発	11:20	12:20	13:20	14:20	15:20	16:20	17:20	18:20	19:20	20:16
仙台	着	12:52	13:52	14:52	15:52	16:52	17:52	18:52	19:52	20:53	21:47
	発	12:54	13:54	14:54	15:54	16:54	17:54	18:54	19:54	20:55	21:48
八戸	発	14:14	15:05	16:14	17:05	18:14	19:09	20:13	21:09	22:06	23:08
七戸十和田	発	14:27	↓	16:27	↓	18:27	19:22	20:25	21:22	↓	23:21
新青森	着	14:43	15:29	16:43	17:29	18:43	19:37	20:40	21:37	22:30	23:36
	発		15:31	16:45	17:31	18:45		20:42		22:32	
木古内	発		16:22	17:38	↓	19:38		21:36		↓	
新函館北斗	着		16:34	17:51	18:32	19:50		21:48		23:33	

上り		はやぶさ									
		4号	8号	10号	12号	14号	16号	18号	20号	22号	24号
新函館北斗	発			6:35	7:34		9:31	10:49		12:44	13:35
木古内	発			6:48	↓		9:44	↓		12:57	↓
新青森	着			7:41	8:35		10:37	11:50		13:50	14:36
	発	6:17	6:49	7:43	8:37	9:52	10:39	11:52	12:39	13:52	14:38
七戸十和田	発	↓	7:04	7:58	8:52	↓	10:54	↓	12:54	↓	14:53
八戸	発	6:41	7:17	8:11	9:05	10:16	11:07	12:16	13:07	14:16	15:06
仙台	着	7:50	8:54	9:29	10:29	11:29	12:29	13:29	14:29	15:29	16:29
	発	7:52	8:55	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30
東京	着	9:23	10:32	11:04	12:04	13:04	14:04	15:04	16:04	17:04	18:04
上り		はやぶさ								はやて	
		26号	28号	30号	32号	34号	36号	38号	96号	98号	100号
新函館北斗	発	14:44		16:17		17:21		18:36	19:37	20:39	21:59
木古内	発	14:57		16:30		↓		18:49	↓	20:52	22:12
新青森	着	15:50		17:20		18:22		19:42	20:38	21:45	23:05
	発	15:52	16:38	17:22	17:44	18:24	18:38	19:44	20:40	21:47	
七戸十和田	発	↓	16:53	↓	17:59	↓	18:53	19:59	20:55	22:02	
八戸	発	16:16	17:06	↓	18:12	↓	19:06	20:12	21:08	22:15	
仙台	着	17:29	18:29	18:55	19:29	19:52	20:29	21:29	23:01		
	発	17:30	18:30	18:57	19:30	19:53	20:30	21:30			
東京	着	19:04	20:04	20:32	21:04	21:23	22:04	23:04			

津軽海峡フェリー

【函館→青森】		
便	函館発	青森着
4	3:10	6:50
8	7:40	11:20
14	12:00	15:40
16	14:00	17:50
18	17:30	21:10
22	20:15	23:55
24	22:05	翌1:45
26	23:50	翌3:40
【青森→函館】		
便	青森発	函館着
3	2:40	6:20
5	5:20	9:00
7	7:40	11:30
11	10:00	13:40
13	14:20	18:00
17	17:05	20:45
19	19:10	23:00
23	22:25	翌2:05

青函フェリー

【函館→青森】		
便	函館発	青森着
2	2:00	5:50
4	4:30	8:30
6	8:10	12:10
8	11:35	15:25
10	14:35	18:25
12	18:00	21:50
14	20:30	0:20
16	23:30	3:20
【青森→函館】		
便	青森発	函館着
1	2:00	5:50
3	4:30	8:30
5	8:10	12:10
7	11:35	15:25
9	14:35	18:25
11	18:00	21:50
13	20:30	0:20
15	23:30	3:20

津軽海峡フェリー

【函館→大間】		
便	函館発	大間着
6	注1) 9:30	注2) 11:00
10	16:30	18:00
【大間→函館】		
便	大間発	函館着
5	7:00	8:30
9	14:10	15:40

注1) 4月1日までは9:10
注2) 4月1日までは10:40

津軽海峡フェリー
青森支店 TEL 017-766-4733
函館支店 TEL 0138-43-4545
大間支店 TEL 0175-37-3111

青函フェリー
青森支店 TEL 017-782-3671
函館支店 TEL 0138-42-5561

※年末年始に一部運休あり

シライン(ポーラスター) TEL 017-722-4545 (シライン株式会社)

【佐井→青森】					
便	佐井発	福浦発	牛滝発	脇野沢発	青森着
1便	7:00	7:25	7:40	8:30	9:30
3便	12:30	12:55	13:10	14:00	15:00
【青森→佐井】					
便	青森発	脇野沢発	牛滝発	福浦発	佐井着
2便	9:40	10:40	11:20	11:40	12:05
4便	15:10	16:20	17:00	17:15	17:40

※年末年始に一部運休あり

むつ湾フェリー

【蟹田→脇野沢】		
便	蟹田発	脇野沢着
1便	9:20	10:20
3便	14:00	15:00
【脇野沢→蟹田】		
便	脇野沢発	蟹田着
2便	10:50	11:50
4便	15:30	16:30

陸奥湾フェリー株式会社
蟹田港フェリー乗り場
TEL 0174-22-3020
脇野沢港フェリー乗り場
TEL 0175-44-3371

※冬期運休あり
※夏期ダイヤあり

※時刻表は変わることがありますので必ず船会社に運航状況を問い合わせの上ご利用ください。
年末年始・船期定期検査・荒天による運休便がある場合がございます。

江差

函館

大間

おおみなと

あおもり

八戸

十和田湖

続きは、青函圏の
みなとオアシスで…

青函圏みなとオアシス

青函圏の各みなとオアシスの問合せ先

- みなとオアシス江差 0139-52-6717(江差町役場産業振興課)
- みなとオアシス函館 0138-21-3493(函館市役所港湾空港部)
- みなとオアシス大間 0175-37-2111(大間町役場生活整備課)
- みなとオアシスおおみなと 0175-22-1111(むつ市役所観光推進課)
- みなとオアシスあおもり 017-723-7211(青森ウォーターフロント活性化協議会)
- みなとオアシス八戸 0178-43-9396(八戸市役所港湾河川課)
- みなとオアシス十和田湖 0176-75-1531(十和田湖観光交流センター)

※12/1～翌年3/31の期間は0176-51-6771(十和田市役所観光推進課)